

プレスリリース

NEC、リアルインテントの自動フォーマル検証ツールを導入し、設計品質を改善

Ascent IIV により、デバッグ期間を短縮

カリフォルニア州サニーベイル市と神奈川県横浜市(2013年11月11日)--- 早期RTL機能検証のリーディングプロバイダであるリアルインテント社(以下リアルインテント)は本日、日本電気株式会社(以下NEC)が設計フローにリアルインテントのAscent Implied Intent Verification(IIV)を採用したことを発表しました。NECが開発する通信システム向けLSIのRTL検証にAscent IIVを使用します。Ascent IIVは、シミュレーション前のRTLに対し、テストベンチやアサーションを作成することなしに、発見の困難なバグを自動で検出します。

リアルインテントは、来週パシフィコ横浜で開催されるEDSFair2013に出展し、Ascent IIVを含む製品紹介を出展社セミナーにて行います。

「NECがリアルインテント製品を採用した理由は、他社製品に比べ解析精度とレポートが優れていたからです。」NEC テレコムキャリアビジネスユニット ネットワークプラットフォーム開発本部 主任 池内克尚氏は述べております。「NECは、通信システム用LSIの開発フローにおいて、Ascent IIVを使用することが設計品質の改善に役立つものと判断しました。」

NECはAscent IIVを製品開発に使用し、Ascent IIVの解析結果によりRTLの品質改善を行う予定です。Ascent IIVの特長である階層レポート機能により、RTLの本質的なバグの解析に注力でき、短期間でRTLを修正することが可能となります。

「アサーションやテストベンチを作成する必要がなく、設計の早期に自動でRTLを機能検証できることが採用決定の決め手になりました。」池内氏は続けます。「Ascent IIVのスマートレポート機能により、他社と同等以上の解析精度を持ちながら、解析が必要なレポートの量を大幅に削減(他社ツール比較)することができました。この先進のレポート機能により、設計者はデバッグにかかる時間を大幅に短縮することが可能になります。また、Ascent IIVの解析結果をもとにバグを修正することで製品の問題を早期に解決でき、製品開発TATの短縮が期待できます。」

「NECによるAscent IIVの採用は、弊社の提供する革新的なソリューションの先進性を証明しています。今後、NECの設計、検証のフローで、弊社の技術が幅広く採用頂けることを期待しております。」リアルインテントの社長、CEO Prakash Narainは述べています。

リアルインテントについて

早期の RTL 機能検証と先進的なサイン・オフの為に、世界各国のお客様がリアルインテントの EDA ソフトウェアを信頼頂いております。リアルインテントは、RTL 設計の複雑な問題を解決する為の先進的な RTL 解析とサイン・オフ・ソリューションを提供しております。リアルインテントの製品は、パフォーマンス、大規模容量、解析精度、そして完成度全てにおいて市場をリードしております。詳細は www.realintent.com をご覧下さい。

略語について

EDA: Electronic Design Automation

EDSFair: Electronic Design and Solution Fair

LSI: Large Scale Integration

RTL: Register Transfer Level

CDC: Clock Domain Crossing

SoC: Systems-on-Chip

Ascent は、リアルインテントの登録商標です。

本プレスに関する連絡先:

日本リアルインテント株式会社

鳥澤 康雄

sales_jp@realintent.com